

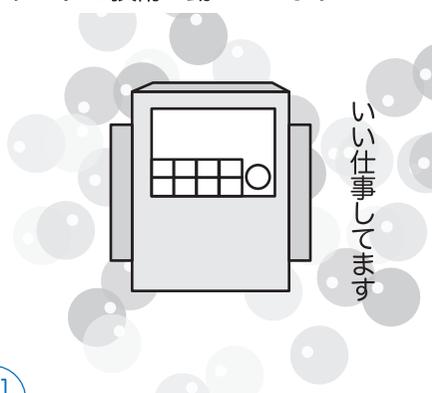
なぜ

ノイズカットトランス™ が必要なのか



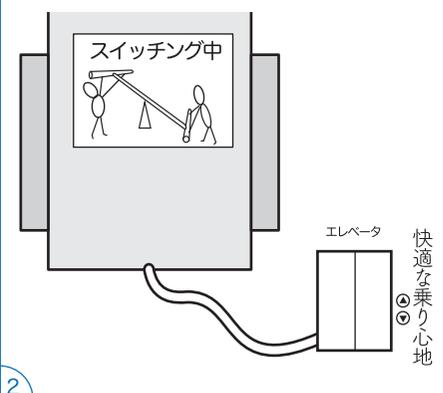
一例をご紹介します

省エネの代名詞インバータはスイッチングの技術で動いています



1

スイッチング制御により機器に効率的で快適な動作を与えます

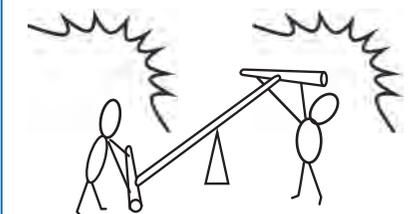


2

しかし、その動作中、不要な電気もランダムに発生します

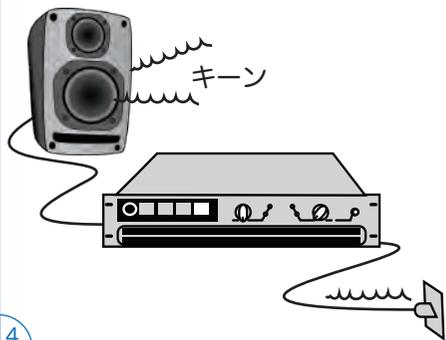
それがノイズです

機器が複数台あると更に複雑なノイズに…



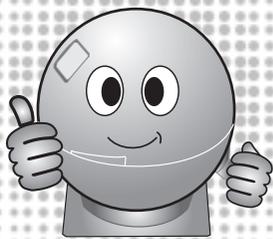
3

ノイズは近隣に設置してある音響機器の電源に侵入し音声信号として出てしまう場合も



4

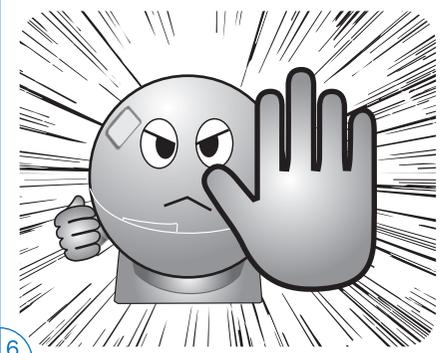
そこで有効なのが



それが障害波遮断変圧器
ノイズカットトランス™ です

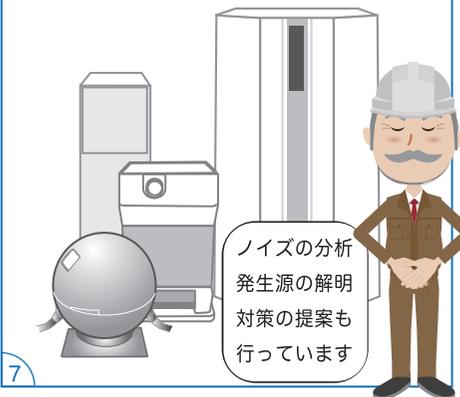
5

ノイズカットトランス™ は DC~3GHz のノイズに有効ですし、強烈なノイズも最大 1/25000 にします

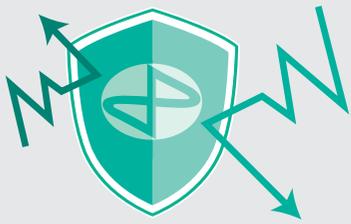


6

当社には他にも電源をクリーンにする様々な製品があります



7



外乱の侵入口となる 電源をクリーンにし、安定させます。

対応する防止領域		ノイズ シールド	ノイズ カット AVR	ノイズ カット CVC	ノイズ カット UPS
種類	形態				
高周波ノイズ		●	●	●	●
電圧ノッチ (サイリスタノイズ)		▲	●	●	●
ゆっくりした 電圧変動			●	●	●
急激な 電圧変動 (サージ・サグ)			●	●	●
電圧の 揺れ動き (フリッカ)			●	●	●
高調波 (波形歪)			●	●	●
周波数変動				●	●
瞬時停電			▲	□	●
停電				□	●

● 対応可能 ▲ 一部対応可能 □ オプションで対応可能

ノイズカットトランス

障害波遮断変圧器

1960年から独自の理論展開で世界に先駆けて開発・実用化したラインノイズ防止素子です。ノイズ源と被害者を分離絶縁してしまうので効果が徹底的で、最悪の電磁環境下でも情報処理装置・機器・システム等を、高周波ノイズ障害から確実に守る切り札となります。



ノイズカットAVR

ノイズ遮断交流自動定電圧装置

ノイズカットトランスと磁気増幅器負帰還自動電圧調整回路の組合せにより、ノイズ遮断と波形修正・自動定電圧等の機能を一台に集結し、1/4サイクル以内の瞬時停電にも対応できる、ハイグレードの自動定電圧装置です。メンテナンスフリー、高効率で入力力率ほぼ100%一定の省エネルギー型です。



ノイズカットCVC

ノイズ遮断定電圧定周波電源

高効率、低価格のインバータ方式の周波数変換器とノイズカットトランスの組合せによる、EMI測定用として最適な電源装置です。外来のノイズを十分に除去し、安定した正弦波電力を、必要な電圧と周波数で供試機器に供給します。小型軽量で安価、設備負担を軽減し、操作しやすくメンテナンスフリー、電気代等のランニングコストもかきません。



ノイズカットUPS

ノイズ遮断無停電電源装置

停電バックアップ、ノイズ遮断、波形修正、定電圧、定周波等すべての機能を持たせてコンパクトにまとめた、オール・イン・ワン形の無停電電源です。常に最良の条件でクリーンな電力を、途切れることなく負荷に供給します。



半世紀に及ぶ実績で、貴社の電磁環境 に適したノイズ対策のコンサルティング 業務も承ります



ノイズトラブル相談室

ノイズ相談・ノイズ調査・
現地技術援助 承ります。

電子装置がエネルギーを受けている電源や電源線路廻りに起因する妨害を受けてトラブルを起こすことを、一口に電源トラブルと呼んでいます。その妨害の内容は一過性であることが多く、また多くは複合して起こり複雑な様相を示し、はたしてどれによる障害が見分けることがなかなか困難です。しかし、これを究明しないままやみくもに対策してみても効果はありません。弊社では、電源トラブルの全分野に有効に対応できる高性能の対策用品をご提供するとともに、「ノイズトラブル相談室」を置き、テクニカルエンジニアが個別のご相談に応じ、あるいは現場に向いてノイズの実態調査や原因の究明にあたり、また現地に急行して対策の実行をご援助いたしております。



ノイズトラブル対策の事例集

ノイズかも



株式会社 電研精機研究所

本社・工場 〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21
Tel: 042-473-3745 Fax: 042-474-0613

大阪営業所 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5
Tel: 06-6538-1118 Fax: 06-6538-2777

※ 本カタログに記載の波形・図表・写真・文章等、一切の無断転載を固くお断りいたします。
著作権は株式会社電研精機研究所に帰属いたします。